

喜びと生きがいを持って暮らす

5月1日から新しい「令和」の時代が始まりました。「万葉集」から引用され「一人ひとりの日本人が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができる日本でありたい」との願いが込められています。本町といたしましても住民の皆さんとの連携を強化し、「住んでよかった」と思ってもらえる田原本のまちづくりの心あらたに全力で取り組んでまいります。

田原本中央合唱団が創立50周年、田原本町文化団体連絡協議会が設立40周年を迎えます。町の文化活動が今日まで積極的に行われてきた成果であると思います。文化団体の活動をはじめ、住民の皆さんが仕事と家庭だけではなく、文化活動・生涯教育活動を通して、喜びや生きがいを求められた結果、文化の多様性が育まれる町となりました。

昨年は、田原本町絵画教室35周年記念展を檀原文化会館へ見に行きました。熟練の技が感じられる作品がある一方、定年後に始めた人もおられました。他にも太極拳やレクダンス、コーラスなどの活動も見学しま



田原本町長 森 章浩

した。皆さんの生き生きとした顔を拝見し、文化活動・生涯教育活動による社会との接点、仲間づくりが心の好循環を生み出し、何よりの健康寿命延伸の方策ではないか、と感じました。

見学の際、会場予約の取りづらさや備品ニーズなどの声をいただき、町民ホールの予約開始を1カ月前から2カ月前に変更しました。他にも、グラウンドゴルフ場の利用回数の増加、青垣生涯学習センターと町民ホールに移動式の姿見鏡を導入するなどしています。

第4次総合計画に掲げる「子どもから高齢者まで誰もがいきいきとした暮らしを楽しむまちたわらもと」の実現に向け、全ての年代の皆さんが日々の生活に魅力や希望を持ち、個性と生きがいに花を咲かせられるよう、文化活動・生涯教育活動を積極的に応援する町でありたいと考えています。

3/20

たわらもとの魅力を全国に発信

田原本町PRラッピングトラック出発式



田原本町では初めてとなる、全国へ向けたPRのためのラッピングトラックが完成し、出発式を行いました。これは、明日香運送株式会社の「このまちを応援したい」という気持ちから「ラッピングトラックによる田原本町のPR強化に関する協定」を締結したことにより実現したものです。取締役会長の小西健允さんは「全国を走る広告塔として、田原本町の広範囲なPRに協力したい」と思いを語りました。



- 1 出発式でのテープカット
- 2 完成した田原本町PRラッピングトラック
- 3 4 関係者に見送られ、全国へ向けて出発

4月1日から

# 町役場の組織が変わりました

4月1日から、町役場の組織が一部変更になりました。今回の見直しは、町民の皆さんに、より良い行政サービスを効率的に提供できるように既存の係の再編及び配置の変更を行うもので、主な変更点は以下のとおりです。

図 人事課 ☎ 34-2056

## 主な変更点

### 1. 防災課を移動

緊急時により迅速な対応を行うため、防災課を1階に移動しました。

### 2. 地域包括支援センターの運営

6月から地域包括支援センターを長寿介護課で運営します。

### 3. 子ども家庭総合支援拠点（総合相談係）の新設

「子ども家庭総合支援拠点（総合相談係）」を子育て世代包括支援センター（こども未来課）内に設置し、虐待防止とともに、センター機能の充実強化を実施しました。

### 4. その他係の新設・分割

その他事務の効率化のため、係の変更も行いました。

### 町役場に手話通訳者を設置します

聴覚障がい者がスムーズに手続きなどを行える体制を整備するため、手話通訳者を設置します。設置日時など詳細については、決まり次第広報紙などで周知します。



## 本庁舎内の配置図

